

# 物部川地域アクションプランの 進捗状況確認資料

物 部 川 地 域 本 部  
令和8年1月22日（木）

## 物部川地域アクションプランの進捗状況確認資料

R8. 1. 22

物部川地域本部

### 1 地域アクションプランの令和7年度の実施状況及び令和8年度の展開(総括)

#### (1) 総評

令和7年度は、全19項目のアクションプランごとに実行支援チームを編成し、市や事業者と事業推進に向けた協議や進捗管理を行うとともに、各種支援制度等を活用しながらそれぞれの目標の達成に向けて取り組みを進めている。

当地域では、地域の雇用創出や所得向上につながるアクションプランに取り組んでおり、令和6年度には22人の雇用創出につなげている。また、連続テレビ小説「あんぱん」の放送を契機に入込数が増加している観光分野に注力した取り組みを進め、交流人口の拡大を図っている。

令和8年度は、放送で得た知名度を活用し、「やなせさんの故郷」というエリアのブランディングを進めるとともに、引き続き、若者を始めとする地域の雇用創出や所得向上にしっかりと取り組んでいく。

#### 農業分野

香南市と香美市におけるニラの産地拡大の取り組みでは、個別農家の技術向上や規模拡大に取り組み、令和7年度のニラ販売額は目標値を上回っている。また、Webメディアでのニラレシピの紹介や出前授業等を実施し、認知度向上に向けて取り組みを進めている。

南国市野菜の生産拡大や地産地消・地産外商の推進については、令和7年5月に農業法人が新設したハウスで営農を開始する等生産拡大への取り組みが進んでいる。令和8年度においてもハウスの整備を予定しており、IoPクラウド「SAWACHI」を活用したデータ駆動型農業を実践していく。

#### 商工業分野

「香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売」では、高知県産業振興推進総合支援事業費補助金を活用し、自動充填機等の導入による生産拡大に向けた取り組みを進めている。令和8年度は、導入により図られる増産と安定供給だけでなく、販路拡大に向けた積極的な営業活動等にも取り組んでいく。

また、伝統産業の振興の取り組みのうち、土佐打刃物については、令和7年5月に入塾した鍛冶屋創生塾の第4期生3名の人材育成が進んでいる。令和8年度においては、第5期生の募集が開始されることから、引き続き関係機関と連携して取り組んでいく。

## 観光分野

連続テレビ小説「あんぱん」の放送の効果による各市の中核施設（やなせたかし記念館、海洋堂 SpaceFactory なんこく、絵金蔵）への入込数の増加は、特に夏以降に顕著に現れ始め、前年を大きく上回り好調に推移している。特に、物部川 DMO 協議会によるセールス活動の強化により、団体ツアーの誘致数が前年度から大幅に増加したほか、やなせさんやドラマに関連した企画展の開催や情報発信により、県外からの入込数が増加している。

令和8年度に向けては、「ものべすと」の取り組みをレガシーとして引き継ぎ、やなせさんゆかりのコンテンツを生かした企画展の開催や継続的なPR活動、受入態勢の充実を図るとともに、経済効果が地域全体に波及するよう、引き続き関係団体等と連携した取り組みを進めていく。

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
		項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			R8計画
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
農業	1	<b>日本一のニラ産地拡大による地域農業の活性化</b> (香南市・香美市)  【実施主体】 ・〇JA高知県(香美地区) ・〇JA高知県(香美地区ニラ部会) ・(一社)香南市観光協会 ・(一社)香美市観光協会 ・香南市 ・香美市  日本一の生産量を誇るJA高知県香美地区のニラ生産拡大に向けた産地ビジョンの実現に向け、「既存農家の経営安定」、「規模拡大志向農家の支援」、「新規就農者、品目転換農家の支援」の3つのプロジェクトを推進し、生産拡大を実現する。また、集出荷体制の効率化やニラを材料としたご当地グルメ等による消費拡大につなげる等産地強化への取り組みを進める。	ニラ販売額 (JA入金額) [園芸年度 8～7月]  27.4億円 (R5)	31.5億円	32.3億円	34.4億円	<b>1 生産上の対策</b> (1)既存農家の経営安定 ・収量向上に向けた個別指導【通年】  (2)規模拡大農家への支援 ・規模拡大農家への経営指導【通年】  ・新設・中古ハウスの情報提供【通年】 (3)新規就農者等の支援 ・新規就農者への経営改善指導【通年】  (4)そぐりセンターの安定稼働 ・そぐりセンターの安定稼働支援【通年】 ・受け込みニラの品質の向上【通年】  <b>2 流通・販売上の対策</b> ・集出荷場の効率的な稼働・運営支援【通年】  <b>3 消費拡大、認知度向上の対策</b> ・県内外での消費拡大に向けた取り組み支援【通年】	<b>1 生産上の対策</b> (1)既存農家の経営安定(12月末) ・出荷データや害虫発生情報等を活用した収量向上に向けた個別指導：4戸、27回 ・栽培講習会での管理指導：4戸、3回 ・ニラ通信の発行：4回 ・チーム会及び役員会：15回 (2)規模拡大農家への支援(12月末) ・規模拡大の実践支援：5戸、8回 ・法人化意向確認及び支援：1戸、2回 ・営農意向調査による空きハウス情報等の収集：3回 (3)新規就農者等の支援(12月末) ・研修生、親元就農への就農支援：8戸、22回 ・指導農業士の確保：1戸(2人) ・新規就農者への個別指導：7戸、47回 (4)そぐりセンターの安定稼働(12月末) ・そぐりセンター定例会での受け込み量や品質等の情報共有：5回 ・アザミウマ類発生状況情報の提供等による品質改善支援：32回  <b>2 流通・販売上の対策</b> ・集出荷場の効率的な稼働・運営支援(12月末) ・役員会での販売状況の共有と人員不足の対応策等について検討(7回)  <b>3 消費拡大、認知度向上の対策</b> ・県内外での消費拡大に向けた取り組み支援(12月末) イベントでのニラメニューの提供 (イベント件数：16件、イベント延べ日数：26日) webメディアへのニラメニューの提供(3件) 出前授業の実施(WEB1回)	34.6億円 (R6.8月～R7.7月)  ・R7到達目標達成率： 107.1% ・対前年同期比：109.8%	A	<b>(成果)</b> ・栽培面積及び販売数量は微増にとどまったが、販売面では前年度比109%の単価で取引されたこと等により、目標販売金額(JA入金額)を達成することができた。 ・データを活用した効率的な営農を支援するため、データ利用に取り組む生産者の拡大を図りつつ、ニラ通信の発行やニラの品質低下の原因となる害虫(アザミウマ類)の発生状況を周知すること等により、品質や収量が向上している生産者がいる。 ・次期産地ビジョン策定のための実態把握に向けた営農意向調査結果(12月時点中間報告)がまとまった。 ・webメディアでのレシピ紹介やイベントでのニラメニューの提供、調理師を目指す学生向けの出前授業により、ニラの認知度向上につながった。  <b>(課題)</b> ・経営改善志向農家や規模拡大農家及び新規就農者等への重点的な指導による技術レベルの向上により、農家経営を安定させるための支援を継続することが必要 ・持込みニラの品質改善等によりそぐりセンターの効率的な運営に取り組んでいるが、一方で、そぐりセンター運営に係る人員不足が、そぐりセンター受入量拡大を妨げている そぐりセンター受入量：47,306kg(R7.8～R7.11月) (対前年同期比：80%) そぐりセンター利用(登録)者数：52戸(R7.11月) (対前年同期比：98%) ・集出荷場の効率的な稼働・運営には、ニラの品質向上及び人員の早期確保等により、そぐりセンターの稼働率向上と受入量を安定させることが必要  <b>(今後の方向性)</b> ・生産者の反収増加による所得の安定 ・生産規模拡大及び新規就農者の確保による産地の維持・発展 ・JA出荷への誘導による流通の安定化 ・ニラの品質向上と人員確保によるそぐりセンターの稼働率向上及び受入可能量の増加 ・ニラの消費拡大と認知度向上に向けた情報発信	<b>1 生産上の対策</b> (1)既存農家の経営安定 ・収量向上に向けた個別指導【通年】  (2)規模拡大農家への支援 ・規模拡大農家への経営指導【通年】 ・新設・中古ハウスの情報提供【通年】 (3)新規就農者等の支援 ・新規就農者への経営改善指導【通年】  (4)そぐりセンターの安定稼働 ・そぐりセンターの安定稼働支援【通年】 ・受け込みニラの品質の向上【通年】  <b>2 流通・販売上の対策</b> ・集出荷場の効率的な稼働・運営支援【通年】  <b>3 消費拡大、認知度向上の対策</b> ・県内外での消費拡大に向けた取り組み支援【通年】

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
		項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			R8計画
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
農業	2	<b>南国市野菜の生産拡大及び地産地消・地産外商の推進</b> (南国市)  【実施主体】 ・◎JA高知県(土長地区) ・◎JA高知県出資農業生産法人(株)南国スタイル ・◎南国市 ・Aitosa(株) ・(株)イチネン農園 ・(株)トリムエレクトリックマシナリー ・(株)はぐみ農園  南国市産の主要農作物(シシトウ、ニラ、ピーマン類)及び還元水素水を活用した野菜(還元野菜)の産地の維持・拡大のため、新規設立農業法人をはじめとする関係機関との協力により、コスト削減や品質改善等に取り組み、生産・流通・販売の課題を解決し、地産地消・地産外商を推進することで、南国市の農業をはじめとした地域産業の活性化を図る。	シシトウ 生産量	439.5t	490t	548t	<b>1 シシトウの生産拡大</b> ・出荷量増加に向けた参入企業及び既存農家の営農支援【通年】 ・研修生の技術習得に向けた支援【通年】	<b>1 シシトウの生産拡大</b> ・Aitosa(株)の規模拡大及び営農支援(R6年度に生産規模を拡大(37a→74a)し栽培を開始(R6.9)) 個別巡回等による技術指導：13回(R7.4～12末時点) ・担い手への支援 重点支援対象者6戸に対する経営及び技術指導：16回(R7.4～12末時点) 研修生との面談、技術指導：4回(R7.12末時点)	461.9t (R6.9月～R7.8月)	B	<b>(成果)</b> ・Aitosa(株)は規模拡大後初めての栽培となったが、10aあたり目標収量を達成した。 12.2t(R7園芸年度目標12t、前年比96%) ・指導農業者や関係機関の支援を受け、シシトウで新規就農を目指す研修生1名の現地研修が順調に進んでいる。 ・(株)イチネン農園が10aあたり目標収量を達成した。 23.1t(R7園芸年度目標22t/10a、前年比105%) ・(株)はぐみ農園が新設ハウスで営農を開始した(R7.4月)。 ・(株)南国スタイルは10aあたり目標収量を概ね達成した。 19.8t(R7園芸年度目標21.8t、前年比99%) ・農家レストラン「まほろば畑」を毎月開催し来客者等への地元野菜のPRにつながっている。 来客数：計1,149人(R7.11月末) ・学校給食に供給することで、地元野菜の地産地消を推進できた。	<b>1 シシトウの生産拡大</b> ・出荷量増加に向けた参入企業及び既存農家の営農支援【通年】 ・新規就農者の技術習得に向けた支援【通年】
			ニラ 生産量	762.4t	850t	880t	<b>2 ニラの生産拡大</b> ・出荷量増加に向けた既存農家及び新規就農者への営農支援【通年】	<b>2 ニラの生産拡大</b> ・既存農家の増収及び品質向上 個別巡回等による技術指導：6回(R7.4～12末時点) ・新規就農者への営農支援 個別巡回等による技術指導：3回(R7.4～12末時点)	770.8t (R6.9月～R7.8月)	B	<b>(課題)</b> ・Aitosa(株)や既存農家の生産安定(シシトウ) ・研修生の技術習得(シシトウ) ・(株)イチネン農園や(株)南国スタイル、既存農家の生産安定(ピーマン類) ・(株)はぐみ農園の生産安定(労働力確保、新規採用社員等の栽培管理技術の習得) ・トリムユーザー以外への広がりへ苦心(還元野菜) ・農家レストラン「まほろば畑」の後継者の確保	<b>2 ニラの生産拡大</b> ・出荷量増加に向けた既存農家及び新規就農者への営農支援【通年】
			ピーマン類 生産量	1,059.2t	1,120t	1,220t	<b>3 ピーマン類の生産拡大</b> ・出荷量増加に向けた参入企業や既存農家、新規就農者の営農支援【通年】	<b>3 ピーマン類の生産拡大</b> ・(株)イチネン農園への営農支援 個別巡回による技術指導：15回(R7.4～12末時点) R8園芸年度の栽培計画作成支援：1回(R7.7) ・(株)はぐみ農園の参入支援 新設ハウスで栽培を開始(R7.4) R8園芸年度の栽培計画作成支援：1回(R7.4) 営農状況確認の面談：1回(R7.8) 個別巡回等による技術指導：13回(R7.4～12末時点) ・(株)南国スタイルへの営農支援 生育調査等による技術指導：16回(R7.4～12末時点) 出荷量、販売実績等に関する打合せ：8回(R7.4～12末時点) ・既存農家及び新規就農者の増収及び品質向上 個別巡回等による技術指導：20回(R7.4～12末時点)	1,084.4t (R6.9月～R7.8月)	B	・(株)イチネン農園や(株)南国スタイル、既存農家の生産安定(ピーマン類) ・(株)はぐみ農園の生産安定(労働力確保、新規採用社員等の栽培管理技術の習得) ・トリムユーザー以外への広がりへ苦心(還元野菜) ・農家レストラン「まほろば畑」の後継者の確保	<b>3 ピーマン類の生産拡大</b> ・出荷量増加に向けた参入企業や既存農家、新規就農者の営農支援【通年】 ・イチネン農園のハウス(2号棟)整備【通年】 ・参入企業の労働力確保に向けた仕組みづくりの検討【通年】
			「還元野菜」 の売上高	1,371万円	1,000万円	1,100万円	<b>4 「還元野菜」の販売拡大</b> ・パプリカ、メロン等還元野菜の栽培、ネット等の販売拡大【通年】	<b>4 「還元野菜」の販売拡大</b> ・ショッピングサイトでの還元野菜のインターネット販売(通年)	663万円 (R7.4月～10月)	S	・R7到達目標達成率：113.7% ・対前年同期比：88.8%	<b>4 「還元野菜」の販売拡大</b> ・パプリカ、メロン等還元野菜の栽培、ネット等の販売拡大【通年】 ・還元野菜の現在の販売ルートの維持及び新規ルートの開拓【通年】
			学校給食における地元野菜の供給割合(金額ベース)	26.91%	27.0%	27.0%	<b>5 「南国野菜」の地産地消の推進</b> ・市内小学校の給食用食材として南国野菜を利用【通年】 ・南国野菜を活用した商品の開発・製造・販売【通年】 ・農家レストラン「まほろば畑」等での料理提供や南国野菜のPR【通年】 ・(株)南国スタイル等による農業体験ツアーの実施【通年】	<b>5 「南国野菜」の地産地消の推進</b> ・市内小学校・幼稚園の給食用食材として地元野菜の利用を継続→給食における地元野菜の供給金額(10月末)：361万円 ・(株)南国スタイルによる南国市内事業者(19事業者)へ配送を実施 ・道の駅南国風里で農家レストラン「まほろば畑」の開催(計7回)	24.98% (R7.4月～10月)	B	・R7到達目標達成率：92.5% ・対前年同期比：109.1%	<b>5 「南国野菜」の地産地消の推進</b> ・市内小学校の給食用食材として南国野菜を利用【通年】 ・南国野菜を活用した商品の開発・製造・販売【通年】 ・農家レストラン「まほろば畑」等での料理提供や南国野菜のPR【通年】

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
		項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			R8計画
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
農業	3	<p>「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上 (南国市)</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・◎(株)なの工房</li> <li>・●畑の食堂Copan</li> <li>・JA高知県(土長地区長岡支所)</li> </ul> <p>旧直販所「あけぼの市」を国道195号通称「あけぼの街道」沿いに移転拡充した「なの市」、平成30年にオープンした「畑の食堂Copan」で、地域農産物の販売や地域資源を活用した加工品の開発・販売及び飲食物の提供を行い、地域農業者の所得向上を図る。</p>	直販所等の売上高 9,707万円 (R4)	1億165万円	1億500万円	1億1,100万円	<p><b>1 組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み</b> 【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務分析による経費削減(日別の目標売上額を設定し、継続的な管理を実施)【通年】</li> <li>・さらなる魅力ある店舗づくり【通年】</li> <li>・新規顧客獲得の取り組み、客単価を上げる取り組み【通年】</li> </ul> <p><b>2 来客増に向けた取り組み</b> 【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出荷品目や量の充実に向けた生産者会での呼びかけ、店舗へのチラシの掲示、生産者への売上データの送付【通年】</li> </ul> <p>【畑の食堂Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の農産物を使った新メニュー、テイクアウト商品の開発(新規及びリピート客の確保)【通年】</li> <li>・SNSを活用した情報発信【通年】</li> <li>・市内外のイベントへの積極的な出店【通年】</li> <li>・キッチンレーラーを活用した新規顧客の獲得【通年】</li> </ul>	<p><b>1 組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み</b> 【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上目標の設定及び毎月の売上管理を継続的に実施</li> <li>・職員の販売スキルの向上のためのミーティングを実施(1回)</li> <li>・顧客の取り込みと客単価向上のため旬の野菜を多く仕入れる等して品揃え、数量を増加</li> <li>・新規顧客の獲得に向けイベント(野菜等の詰め放題)を実施(R7.6・8月・11月:6回、12月:3回)</li> </ul> <p><b>2 来客増に向けた取り組み</b> 【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者会の実施 →新規出店者の開拓:9者(R7.11月末)</li> <li>・店内での地域イベントチラシの掲示</li> <li>・生産者への売上データの送付</li> </ul> <p>【畑の食堂Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節メニューの開発、提供 →ショウガあんマラサダ、しょうがキャラメル南国カヌレ、フルーツ杏仁文旦のジュレのせ等</li> <li>・SNSを活用した情報発信 →97件(R7.11月末)</li> <li>・新規顧客の獲得を目指した市内外のイベントへの出店 →おやつ神社(R7.5)、蔦屋書店大夜市(R7.8)、villege(R7.10)、Regalo(R7.12)等</li> </ul>	<p>6,485万円 (R7.4月～10月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R7到達目標達成率:105.9%</li> <li>・対前年同期比:104.5%</li> </ul>	A	<p><b>(成果)</b> 【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売体制等の見直しを積極的に行った結果、経費を削減することができた。</li> <li>・新規出店者の開拓により、入込客数が増加した。(対前年同期比102.8%)</li> </ul> <p>【畑の食堂Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等での積極的なPRを行い新規顧客の獲得につなげている。</li> </ul> <p><b>(課題)</b> 【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務の健全化</li> <li>・生産者の高齢化、高知市内の直売所への出荷が増えたことによる入荷減</li> </ul> <p>【畑の食堂Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来客数の伸び悩み</li> </ul> <p><b>(今後の方向性)</b> 【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらなる経営改善に向け、産振アドバイザー制度の活用を検討</li> <li>・生産者会の実施等を通じて、生産者に対し、より多くの出荷に向けた働きかけを継続</li> </ul> <p>【畑の食堂Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キッチンレーラーを活用し、イベント等での積極的なPRを行う等、来客増に向けた取り組みの継続</li> </ul>	<p><b>1 組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み</b> 【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務分析による経費削減(日別の目標売上額を設定し、継続的な管理を実施)【通年】</li> <li>・さらなる魅力ある店舗づくり【通年】</li> <li>・新規顧客獲得の取り組み、客単価を上げる取り組み【通年】</li> </ul> <p><b>2 来客増に向けた取り組み</b> 【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者会で出荷品目や量の充実に向けた呼びかけを実施【通年】</li> <li>・店舗への地域イベントチラシの掲示【通年】</li> <li>・生産者への売上データの送付【通年】</li> </ul> <p>【畑の食堂Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の農産物を使った新メニュー、テイクアウト商品の開発(新規及びリピート客の確保)【通年】</li> <li>・SNSを活用した情報発信【通年】</li> <li>・市内外のイベントへの積極的な出店【通年】</li> <li>・キッチンレーラーを活用した新規顧客の獲得【通年】</li> </ul>



(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			R8計画
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
商 工 業	5	<b>高知県産ワインの生産拡大及び ブランド化の推進</b> (香南市)  【実施主体】 ・◎井上ワイナリー(株) ・香南市  県内各地の遊休農地等でのブドウ栽培を進め、ワインの生産拡大を図るとともに、県内食材とのコラボレーションやPR活動により、高知県産ワインとしてのブランド力を高めることで、県内にワイン文化を醸成し、土佐ワインバレー構想の実現を目指す。	商品売上高 (R4)  7,120万円	6,524万円	7,500万円	9,400万円	<b>1 栽培面積の拡大</b> ・県内市町村や集落活動センターと連携した圃場の拡大、自社圃場の拡大【通年】  <b>2 醸造・生産体制の強化</b> ・新商品ワインの開発【通年】 ・設備の増強【R7中】  <b>3 ブランド力の向上</b> ・品評会への出展【通年】  <b>4 他の事業者との連携</b> ・グロサリー商品等の開発・販売【通年】	<b>1 栽培面積の拡大</b> ・香南市山北地区で圃場拡大を計画。令和10年度の最大3.7haを目指し、令和7年度は測量設計に着手。  <b>2 醸造・生産体制の強化</b> ・ごめん・なはり線のキャラクター(やなせたかし氏)をラベルに使用した山北みかんジュース・山北みかんワインを販売(R7.4月～) ・醸造室及びワインセラーの高所作業台を整備予定(香南市産業振興計画推進事業費補助金を活用))(R8.3月)  <b>3 ブランド力の向上</b> ・品評会への出展 →日本ワインコンクール2025 銀賞 受賞 (正光園シャルドネ等) →香港和酒アワード プラチナ賞 受賞 (山北アルパリーニョ) →フェミナリーズ世界ワインコンクール2025 金賞 受賞 (TOSA手結等) →サクラアワード2025 ゴールド 受賞(美良布MBAロゼ等)  <b>4 他の事業者との連携</b> ・土本観光果樹園(佐川町)のりんご「ふじ」の果汁を100%使用したシードルの製造・販売(R6～) ・ブドウの絞りカスを活用した入浴剤の開発(R6) →今年度中に販売予定 ・三宝山エリア(4施設)でスタンブラリー等のイベントを実施 (R7.12月)	5,180万円 (R7.4月～11月)  ・R7到達目標達成率： 103.6% ・対前年同期比：114.1%	A	<b>(成果)</b> ・高知県産りんご「ふじ」の果汁を100%使用したシードルの販売が好調である。 (まきのさんの道の駅・佐川でも販売開始 R7.7月～) ・各種イベントに毎月2回ほど参加しており売上高の向上につながった。  <b>(課題)</b> ・ブドウの生産量が不足しており圃場拡大が必要 ・店舗への来客者数が減少傾向  <b>(今後の方向性)</b> ・耕作放棄地(山北地区)の活用による自社圃場の拡大 ・ワインの増産に向け新たに高所作業台を整備予定(R8.3月) ・5周年イベントの開催を計画(R9)	<b>1 栽培面積の拡大</b> ・県内市町村や集落活動センターと連携した圃場の拡大、自社圃場の拡大【通年】  <b>2 醸造・生産体制の強化</b> ・新商品ワインの開発【通年】 ・設備の増強【随時】  <b>3 ブランド力の向上</b> ・品評会への出展【通年】  <b>4 他の事業者との連携</b> ・グロサリー商品等の開発・販売【通年】 ・来客者増に向けた各種イベントの開催【通年】

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)		現状分析
商 工 業	6	<b>ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化</b> (南国市)  【実施主体】 ・◎南国市 ・◎南国市商工会 ・◎(株)海洋堂高知 ・南国市中心市街地振興協議会  「ものづくり、ひとづくり、まちづくり」の拠点施設となる、ものづくりサポートセンターの整備を契機として、中心商店街がものづくりを志す人材が集うまちとなるよう、交流人口の拡大や商店街の活性化に資する取り組みを行う。	エリア内の売上高	14億8,061万円	13億2,328万円	13億9,031万円	<b>1 中心市街地の賑わい創出</b> ・中心市街地の賑わいを創出する企画の策定、実行【通年】 ・第3期中心市街地振興計画の策定【R8.3】 ・中心市街地振興協議会における中心市街地振興計画の進捗管理【通年】 ・まち歩きガイドマップの配布【通年】	<b>1 中心市街地の賑わい創出</b> ・中心市街地の賑わいを創出する企画の策定、実行 ・ごめんの軽トラ市、ごめんteteマルシェを同時開催(6/1、10/26) →ごめんの軽トラ市(来場者数) 6/1:1,837人、10/26:1,998人 →ごめんteteマルシェ(来場者数) 6/1:1,450人、10/26:1,300人  ・中心市街地振興協議会における中心市街地振興計画の進捗管理 →中心市街地振興協議会を開催(R7.5) ・まち歩きガイドマップの配布 →ごめんさんぽマップの配布(3万部) (R7.3～、観光案内所、主要観光施設等)	- (R8.9調査)	-	<b>(成果)</b> ・ドラマ関連企画展の開催や各種イベント等の実施により、拠点施設の入込数が好調に推移している。 (4～11月の入館者数 対前年同期比:138.5%)  <b>(課題)</b> ・拠点施設入場者の中心市街地への周遊を促す仕組みづくり  <b>(今後の方向性)</b> ・R7年度に整備したやなせライオン公園も活用し、拠点施設から中心市街地への人の流れを作り出す取り組みを検討	<b>1 中心市街地の賑わい創出</b> ・中心市街地の賑わいを創出する企画の策定、実行【通年】 ・中心市街地振興協議会における中心市街地振興計画の進捗管理【通年】 ・まち歩きガイドマップの配布【通年】
			新規出店数	5件	5件	2件	8件 (R6～9累計)	<b>2 各種イベントの開催や空き店舗の活用等</b> ・施設のPRを兼ねた、ものづくりイベントの企画、実施【通年】 ・(株)海洋堂高知と連携した、ものづくりイベントの実施【通年】 ・軽トラ市、ごめんteteマルシェ等イベントと連携したものづくりサポートセンターから中心市街地への周遊を促す仕組みづくり【通年】 ・地域おこし協力隊による取り組み支援【通年】 ・空き店舗活用の支援策の充実(中心市街地振興事業費補助金)【通年】	<b>2 各種イベントの開催や空き店舗の活用等</b> ・軽トラ市、ごめんteteマルシェ等イベントと連携したものづくりサポートセンターから中心市街地への周遊を促す仕組みづくり ・ごめんの軽トラ市、ごめんteteマルシェを同時開催(6/1、10/26)(再掲) →ごめんの軽トラ市(来場者数) 6/1:1,837人、10/26:1,998人 →ごめんteteマルシェ(来場者数) 6/1:1,450人、10/26:1,300人 ・空き店舗活用の支援策の充実(中心市街地振興事業費補助金) →空き店舗活用の支援(2件)	3件 (R7.4月～11月)  ・R7到達目標達成率:150.0% ・対前年同期比:100.0%	S	<b>2 各種イベントの開催や空き店舗の活用等</b> ・施設のPRを兼ねた、ものづくりイベントの企画、実施【通年】 ・(株)海洋堂高知と連携した、ものづくりイベントの実施【通年】 ・軽トラ市、ごめんteteマルシェ等イベントと連携したものづくりサポートセンターから中心市街地への周遊を促す仕組みづくり【通年】 ・地域おこし協力隊による取り組み支援【通年】 ・空き店舗活用の支援策の充実(中心市街地振興事業費補助金)【通年】
			拠点施設の入込数	68,806人	70,000人	70,000人	<b>3 拠点施設の運営等</b> ・フィギュアの生産、販売【通年】 ・集客につながるイベントの実施【通年】 ・拠点施設と連携した各種イベントの開催【通年】 ・やなせ先生やドラマ関連の企画展やイベントの開催【通年】 ・デジタル観光ガイドを活用した周遊企画【通年】 ・南国市地域経済活性化計画の進捗管理【通年】	<b>3 拠点施設の運営等</b> ・フィギュアの生産、販売【通年】 ・集客につながるイベントの実施(企画展の開催) →春のカプセルイまつり(2/8～4/6):438人(4月入場者) →ナンシーPOP-UP-SHOP(3/29～6/2):83人(レジ通過者) →宇宙展(6/26～8/31):180人(4～7月レジ通過者) →ワークショップ(2,203人)(R7.11月末) ・拠点施設と連携した各種イベントの開催 →ごめんteteマルシェの開催(6/1)来場者数1,450人(再掲) →ごめんteteマルシェ(10/26)来場者数1,300人(再掲) ・やなせ先生やドラマ関連の企画展やイベントの開催 →連続テレビ小説ドラマ展「のぶと嵩のおらんく展」(4/26～R8.2/8)来場者数10,174人(R7.11月末) ※オープニングイベント(4/26)来場者数300人 →アツくてごめんでサマーキャンペーン(7/19～9/30)	66,766人 (R7.4月～11月)  ・R7到達目標達成率:143.1% ・対前年同期比:138.5%	S	<b>3 拠点施設の運営等</b> ・フィギュアの生産、販売【通年】 ・集客につながるイベントの実施【通年】 ・拠点施設と連携した各種イベントの開催【通年】	

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
		項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			R8計画
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
商 工 業	7	<b>香南市中心市街地の振興</b> (香南市)  【実施主体】 ・〇香南市 ・〇香南市商工会 ・〇地域事業者  香南市の中心市街地において、 補助金を活用した利用可能な空 き店舗の改修等により、移住者に よる新規創業も含めた新たな店舗 の開業を支援するとともに、周辺 の観光施設等と連携し、中心市街 地を核とした地域の活性化を図 る。	空き店舗等を 活用した中心 市街地活性 化計画エリア 内の新規開 業数  1件 (R2～4 累計)	1件	4件 (R6～7累 計)	8件 (R6～9累 計)	<b>1 空き店舗対策</b> ・空き店舗対策事業費補助金による支援 【通年】 ・空き店舗情報や事業承継支援に関する情報 発信【通年】 ・事業承継支援制度の創設(中山間地域) ・市、県との連携及び情報共有 ・空き店舗を活用した創業、事業承継に対する 支援	<b>1 空き店舗対策</b> ・相談窓口(香南市・商工会)における各創業支援施策の相談 件数：12回(R7.12月時点) ・市内不動産会社と連携した市ホームページへの空き店舗情報 及びこうち創業village(高知市作成HP)の掲載物件数 ：5件(R7.12月時点) ・事業承継支援制度の創設(中山間地域)(R7.4月～) ・事業承継にかかる支援機関との連携及び情報発信(通年) ・市内金融機関を対象とした「香南市中心市街地中小企業者への支援事 業に係る説明会」にて補助金紹介 →空き店舗対策事業費補助金活用実績 交付決定(1件)	2件(累計) (R6.4月～R7.12月)  ・R7到達目標達成率：50.0% ・対前年同期比：100.0%	<b>D</b>	<b>(成果)</b> ・空き店舗等対策事業費補助金の交付決定(1件)、 マルシェの開催やデジタル商品券の販売により中心市街地の 活性化につながっている。  <b>(課題)</b> ・中心市街地での空き店舗等対策事業費補助金の活用件数の 伸び悩み ・中心市街地活性化計画の総括(来年度以降の事業のあり方を 検討))  <b>(今後の方向性)</b> ・空き店舗等対策事業費補助金の補助率拡充を検討 ・空き店舗情報に掲載可能な物件の掘り起こし ・マルシェこうちなんの開催(フジグラン野市・高知蔦屋書店・ ボートレースまるがめ(香川県丸亀市))	<b>1 空き店舗対策</b> ・空き店舗対策事業費補助金による支援 【通年】 ・空き店舗情報や事業承継支援に関する情報 発信【通年】 ・事業承継等推進事業費補助金による支援 (中山間地域)【通年】 ・市、県との連携及び情報共有【随時】 ・空き店舗を活用した創業、事業承継に対する 支援【随時】

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】		【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】
		項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
商 工 業	8	<b>香美市の伝統産業(土佐打刃物、フーフ)の振興</b> (香美市)  【実施主体】 ・高知県土佐刃物連合協同組合 ・フーフ製造業者 ・香美市商工会 ・(一社)香美市観光協会 ・香美市  国指定伝統的工芸品である土佐打刃物及び高知県伝統的特産品であるフーフの後継者育成及び販路拡大を図るため、鍛冶屋創生塾による人材育成とともに、観光事業との連携やイベント開催、ネット販売等に取り組む。	創生塾 入塾者数  9名 (R2~5 累計)	9名 (R2~6 累計)	12名 (R2~7 累計)	15名 (R2~9累 計)	<b>1 人材育成</b> ・鍛冶屋創生塾における人材育成【通年】 ・鍛冶屋創生塾卒業生の就業及び研鑽の確保【通年】	<b>1 人材育成</b> ・鍛冶屋創生塾の運営(伝統的工芸品産業支援補助金(国)及び伝統的工芸品産業等後継者育成対策事業補助金)→4期生(3名)の育成(R7.5月~R9.4月) ・5期生の募集に向けた広報方法の検討(R7.6月~) ・鍛冶屋創生塾運営委員会の開催(R7.6・9月) ・産地見学会に向けた準備(R7.10~、伝統的工芸品産業振興協会主催)	12名 (R7.9月時点)  ・R7到達目標達成率： 100.0%	<b>A</b>	<b>(成果)</b> ・鍛冶屋創生塾1、2、3期生は県内で就業し、後継者の確保につながった。 〈第1期生_R1.5-R3.4〉 3名 ※うち新規就業3名 〈第2期生_R3.5-R5.4〉 3名 ※うち新規就業3名 〈第3期生_R5.5-R7.4〉 3名 ※うち新規就業2名、講師補助1名 〈第4期生_R7.5-R9.4〉 3名(研修中) ・鍛冶屋創生塾5期生の募集に向け、産地見学会を実施する等国の事業等を活用しさらなる周知を図っている。	<b>1 人材育成</b> ・鍛冶屋創生塾における人材育成【通年】 ・鍛冶屋創生塾卒業生の就業及び研鑽の確保【通年】 ・鍛冶屋創生塾5期生の募集【通年】
商 工 業	9	<b>土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化</b> (香美市)  【実施主体】 ・えびす街協同組合 ・香美市商工会 ・香美市  香美市の中心商店街である土佐山田えびす商店街の情報交流拠点施設「ふらっと中町」の情報発信力を強化し、商店街内の空き店舗の活用等により、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、商店街を含む地域の活性化を図る。	新規開業数  -	3件	5件 (R6~7累 計)	8件 (R6~9累 計)	<b>1 商店街を含む地域の活性化策の推進</b> (1)空き店舗を活用した新規開業支援【通年】 ・ふらっと中町職員による空き店舗調査の実施 ・開業希望やチャレンジショップ活用に関する問い合わせへの対応 ・空き店舗等利活用助成金による支援 ・開業時のアドバイスの実施  (2)「ふらっと中町」チャレンジショップの運営【通年】 ・チャレンジショップを活用したチャレンジャーの開業支援 ・集客力のあるイベント開催によるPR ・SNS等による情報発信	<b>1 商店街を含む地域の活性化策の推進</b> (1)空き店舗を活用した新規開業支援 ・空き店舗の調査及び開業希望やチャレンジショップ活用に関する問い合わせへの対応【通年】  (2)「ふらっと中町」チャレンジショップの運営 ・ふらっと中町の建替(R7.12月完成)後の、施設運営について検討を開始(R7.9月~) ・チャレンジショップの再開に向けたチャレンジャーの公募と運営スタッフの募集を開始(R7.12月~) ・ふらっと中町から「T-Garden Nakamachi 98」(以降、T-Gardenとする)へ改称しリニューアルオープン(R7.12)	6件 (R7.12月時点)  ・R7到達目標達成率： 120.0%	<b>S</b>	<b>(成果)</b> ・「ふらっと中町」の建替工事が完了した。 ・チャレンジショップの再開を含めた建替後の施設運営の検討が開始される等、「T-Garden」の安定運営に向けた取り組みが順調に進んでいる。  <b>(課題)</b> ・商店街の空き店舗の活用促進及びチャレンジショップ卒業生の域内への出店を目指した利用可能な空き店舗の確保 ・T-Gardenの安定的な運営方法等の検討が必要 ・第2期香美市中心商店街活性化計画アクションプランの見直し	<b>1 商店街を含む地域の活性化策の推進</b> (1)空き店舗を活用した新規開業支援【通年】 ・T-garden職員による空き店舗調査の実施 ・開業希望やチャレンジショップ活用に関する問い合わせへの対応 ・空き店舗等利活用助成金による支援 ・開業時のアドバイスの実施  (2)「T-garden」チャレンジショップの運営【通年】 ・チャレンジショップを活用したチャレンジャーの開業支援 ・集客力のあるイベント開催によるPR ・SNS等による情報発信

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			R8計画
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
商 工 業	10	<b>香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売</b> (香美市)  【実施主体】 ・◎(同)高知カンパニーブルワリー ・香美市商工会 ・香美市  高知県産の食材を活用したクラフトビールを開発し、生産拡大を行うとともに、イベントの開催等による自社TAP STANDへの誘客促進を図る。更に、商工会等の関係機関と連携し、地元商店街のにぎわい創出を図る。	クラフトビールの売上高 4,207万円 (R4)	1億103万円	8,000万円	9,000万円	<b>1 生産体制の強化</b> ・生産拡大に向けた機械設備の導入(産振補助金(一般事業)活用予定)【通年】 ・労働力の確保・育成【通年】  <b>2 認知度向上・販路拡大</b> ・商品コンセプトに合致したイベント、商談会等への出展【通年】 ・地元イベントへの出店【通年】 ・自社イベントの実施【通年】 ・新商品の開発【通年】 ・SNS等を活用した情報発信【通年】	<b>1 生産体制の強化</b> ・生産拡大に向け、県産業振興推進総合補助金を活用した機械設備(自動充填機等)の導入(産振補助金(一般事業)) R7.8事業採択、R7.9交付決定、R7.9着工 ・ハローワークを活用した労働力の確保 ・副業人材を活用して製造工程のマニュアルを作成し、業務を効率化(R7.5～)  <b>2 認知度向上・販路拡大</b> ・KITTE大阪で開催されたイベントに出店(R7.7) ・「まるごと高知」での店頭販売(R8.8) ・ウェルカムドリンクとして市内宿泊施設にビールを提供(R7.4) ・香美を廻る体験博「かみめぐり」への参加(R7.10、11) ・TOSACO 7周年記念イベントの開催(R7.4～5) ・Halloweenイベントの開催(R7.10) ・クリスマスイベントの開催(R7.12) ・新商品の開発・販売 → 8種類 (チョコマロンビール、ミルクマンゴーヘイジー、こなっちゃんハニーミード、ストロベリーブラックIPA、ばんびーる、かやの森ばんびーる、酒粕ヘイジーIPA、ワイン粕ヘイジーサワー)	5,536万円 (R7.4月～10月)  ・R7到達目標達成率： 118.6% ・対前年同期比：90.4%	S	<b>(成果)</b> ・販路拡大、新商品の開発、各種媒体でのPRによりR7到達目標の達成が見込まれる。 ・製造工程のマニュアル化により業務が効率化し、販路の拡大にかかる人材を確保することができた。  <b>(課題)</b> ・設備導入による生産量の増加を見越した販路の拡大 ・製造・販売工程のデジタル化による業務の効率化 ・TAP STAND及びTOSACO GARDENへの誘客  <b>(今後の方向性)</b> ・安定供給に向け、自動充填機等の設備を導入 ・製造・販売管理システムの構築・運用 ・生産量の増加に向けた販路拡大へ対応するために、商談会等へ参加 ・SNS等を活用したTAP STAND及びTOSACO GARDENの情報発信の強化	<b>1 生産体制の強化</b> ・生産拡大に向けた機械設備等の導入・稼働(産振補助金(一般事業)活用)【通年】 ・労働力の確保・育成【通年】  <b>2 認知度向上・販路拡大</b> ・商品コンセプトに合致したイベント、商談会等への出展【通年】 ・地元イベントへの出店【通年】 ・自社イベントの実施【通年】 ・新商品の開発【通年】 ・SNS等を活用した情報発信【通年】

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
		項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)		現状分析
観光	11	<b>物部川地域における広域観光の推進</b> (物部川地域全域)  【実施主体】 ・〇(一社)物部川IDMO協議会 ・南国市 ・香南市 ・香美市 ・(一社)南国市観光協会 ・(一社)香南市観光協会 ・(一社)香美市観光協会 ・(株)ものべみらい ・観光事業者  物部川地域の自然、観光施設、体験メニュー等の多様な観光資源を広域的に組み合わせ、魅力的な観光商品とするとともに、民間事業者の視点も踏まえて地域の観光資源を一層磨き上げ、情報発信を行うことにより、観光客の広域的な誘致を推進し、交流人口の拡大を図る。	主要観光施設入込数 (8施設)  1月～12月  73.7万人 (R4)	78.9万人	83.5万人	89.5万人	<b>1 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化</b> ・エリア内関係者と一体となった博覧会事業の実施【博覧会期間：3/29～R8.2/8】 ・物部川広域観光振興中期計画(R7～9)の改定・実行  <b>2 観光商品の充実・観光客の広域誘致</b> ・県キャンペーンと連動した観光商品の造成・販売【通年】 ・連続テレビ小説「あまぼん」や、やなせたかしさんを前面に出したセールスの実施やエリア内の情報発信による「物部川ブランド」の確立【通年】 ・「ユニバーサル観光地」としての認知度を向上させ、エリアへの誘客を推進【通年】 ・3市の観光と歴史文化を伝える教育旅行のセールス強化【通年】 ・地域観光人材の育成【通年】 ・デジタルデータ等を活用した分析・戦略策定【通年】	<b>1 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化</b> ・観光博覧会「ものべすと」の事業計画やアフター「あまぼん」施策の検討に向けた会議の開催 ①実行委員会1回(8/29) ②幹事会4回(4/18、5/20、7/14、11/28) ・観光庁事業を活用し、アドバイザーを導入して物部川広域観光振興計画の内容を検討  <b>2 観光商品の充実・観光客の広域誘致</b> ・旅行商品の造成 (タクシープラン、バスツアー(8/29)、スイツ列車 等) ・商談会への参加・個別セールスの実施：24回 (関東：4/22・9/2・10/6、関西：5/8、9・9/10・10/16、広島：5/22・12/3、4、阪急(中四国支部)：5/14、名古屋10/30、福岡：6/5、高知：8/18、インバウンド商談会in愛媛：10/27、台湾：1/22、23) ・国内外からの旅行ツアーの受入れ →ツアー設定本数：344件 (インバウンドツアー：2件、国内団体ツアー：334件、旅行会社視察・モニターツアー：5件、教育旅行：3件) ・クルーズ船寄港時地場産品販売・観光案内の実施：13回 (4月：5回、5月：4回、6月：2回、7月：2回) →売上実績：327,880円 ・県内外での観光PRの実施：40回(うち県外10回) ①観光PRブース出展 (アニクリ祭、長居植物園、とさとさ、南国SA、大阪県人会、宿フェス、ツーリズムEXPO 等) ②パンフレットの配架、配布 (アマチュア無線特別記念局、大阪・関西万博、スーパーよさこい、松山三越、あま市三和図書館、NEXCO西日本 等) ・観光客動態調査の実施：8回 (ヤ・シイパーク、道の駅南国風良里、葎生の里) →アンケート回収数：586件 ・WEBアンケート(来訪者満足度調査)の実施 →回収数：669件 ・JR観光列車のおもてなしの実施：毎週金曜日(4～6月、10～12月) ・ユニバーサルな観光に向けた取り組み (ビーガン、ベジタリアン受入に向けた食の開発・販売、「ものべお仕事体験博」や「ものべすと親子体験博」での障がい児の受入れ) ・高知工業高等専門学校の地域共同演習の受入れ、商品造成：毎週火曜日(5/27～) ・人流データを活用した入込のデータ分析及び関係者へのフィードバック ・東部観光協議会と連携した実証事業の実施 (40代以下のファミリー層の周遊促進に向け、2つのエリアの食と観光施設を巡るデジタルスタンプラリーを展開)	83.5万人 (R7.1月～11月)  ・R7到達目標達成率： 109.1% ・対前年同期比：110.4%	A	<b>(成果)</b> ・県内外でのPR活動やセールス活動を強化したことで、ツアー設定本数が前年度から大幅に増加した。 (ツアー設定本数：R6 67件→R7 344件) ・観光博「ものべすと」の中核施設として位置づけられた絵金蔵、海洋堂スペースファクトリーなんご、香美市立やなせたかし記念館の入込は好調に推移し、やなせたかし記念館では、20万人を達成した。 (R7.3.29～10.31 前年比204.8%) ・エリア内の事業者や自治体に向けた勉強会の開催により、情報発信力や受入態勢の強化につながった。  <b>(課題)</b> ・連続テレビ小説「あまぼん」に関連する主要観光施設は入込数が好調だが、周辺施設へ波及させる取り組みの強化が必要 ・アフターあまぼんを見据えて、エリア内関係者と連携した次期観光戦略を策定・実行 ・インバウンド需要を着実に取り込むための受入環境整備や誘客施策の強化  <b>(今後の方向性)</b> ・エリア全体への周遊を促す商品造成やPR活動を強化 ・周遊促進の効果を高めるため、県や隣接する高知市、東部観光協議会と連携したPRを実施 ・「ものべすと」のレガシーを生かした次年度以降の事業計画づくりを推進 ・インバウンド向けコンテンツの開発や多言語に対応した情報発信を強化	<b>1 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化</b> ・物部川広域観光振興計画(R8～12)の実行 ・マーケティング機能の強化【通年】 ・エリア内関係者との定期的な情報交換による連携強化【通年】  <b>2 観光商品の充実・観光客の広域誘致</b> ・県キャンペーンとの連動や「やなせたかしさん」コンテンツを生かした観光商品の造成・販売【通年】 ・やなせたかしさんを全面に出したセールスの実施やエリア内の情報発信によるブランディングの強化【通年】 ・家族3世代が楽しめる受入環境の充実【通年】 ・高知龍馬空港の国際化に連動したインバウンド対応の強化【通年】 ・デジタルデータ等を活用した分析・施策の実践【通年】

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
		項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			R8計画
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
						<b>3 地域連携による周遊促進</b> ・観光博覧会「ものべすと」の開催によるエリア内への誘客促進や周遊企画の実施【通年】 ・「ものべおしごと体験博」等の地域連携企画の実施【通年】	<b>3 地域連携による周遊促進</b> ・空港から物部川エリアを巡る周遊バスの運行 (26日間：4/26～5/6、7/19～21、8/9～17、9/13～15) →乗車人数：2,551人 ・特別イベントの開催(9/7、10/11～13、R8.1/11) →来場者数：のべ約6,500人 ・3市を周遊するサイクリングイベントの開催(11/8) →参加者数：131人 ・商店街を舞台にしたアートイベントの開催(11/7～24) →トークショー等参加者数：のべ50人 スタンプラリー参加者数：58人 ・食をテーマにした商品造成 →やなせたかさんの好物だった「しょうが」グルメの開発：12店舗 →子育てファミリー受入れのための店舗リスト作成 ・ものべすと親子体験博の実施(7/29～8/27) →11プログラム、116人参加 ・ものべすとサポーターによるおもてなし活動 →登録者数：218人、協力企業：11件 ・広報事業 (公式ガイドブックの更新、動画制作、交通広告・TV・ラジオを活用した広報等) ・エリア内での勉強会の開催 →SNS活用研修会：市民向け3回、事業者向け1回 →事業者に向けたエリア内の観光勉強会：5回 ・「ものべおしごと体験博」の開催 →開催に向けたエリア内企業との連携：4社 (ANA、海洋堂SFN、旭食品、県立歴史民俗資料館) ・南国I.C.わくわくゾーンスタンプラリーの実施による周遊促進 (3/29～11/24) →応募者数：398名  【活用した支援策】高知県広域観光推進事業費補助金				<b>3 地域連携による周遊促進</b> ・二次交通対策を踏まえた周遊促進の強化【通年】 ・エリア内事業者や高知県東部観光協議会等と連携した周遊企画の実施【通年】	

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
		項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			R8計画
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
観光	12	<b>南国市の地域資源を活用した観光の推進</b> (南国市)  【実施主体】 ・〇(一社)南国市観光協会 ・南国市 ・南国市観光クラスター連絡協議会 ・市内各観光に関わる企業・団体・グループ  地域が誇る史跡資源(長宗我部等)を活用したイベント・ツアーへの参加をきっかけとして、周辺の観光名所・施設への来訪等市内観光を推進するとともに、ものづくりサポートセンターを核とした県外からの誘客促進につなげる。	主要観光施設入込数(4施設)  1月～12月  48.4万人(R4)	51.8万人	55.0万人	55.0万人	<b>1 観光の推進</b> ・既存の観光メニュー、イベントのブラッシュアップや新たなメニューづくり、周遊ルート提案・実施【通年】 ・ごめん町定時ガイドの実施【～R8.2】 ・観光パンフレットの発刊、SNS等での情報提供、旅行雑誌等への売り込み【通年】 ・移動販売車(キッチンカー)を用いた、観光・特産品のPR【通年】  <b>2 観光協会の体制強化</b> ・臨時観光案内所の運営体制の確保【～R8.2】 ・会員増に向けた新規会員の掘り起こし【通年】 ・SNSやパンフレットによる会員店舗やイベントのPR【通年】  <b>3 観光博覧会の開催</b> ・「やなせたかしが育ったまち南国市」のPR【通年】 ・やなせたかし先生やドラマ関連の企画展やイベントの開催【～R8.2】 ・臨時観光案内所の運営【～R8.2】 ・デジタル観光ガイドシステムを活用した周遊企画【～R8.2】 ・まち歩きマップの配布【通年】	<b>1 観光の推進</b> ・臨時観光案内所の運営による観光振興 →利用者数：12,215人(11月末) →特産品販売：20事業者 売上金額 3,361,579円(11月末) →レンタサイクル利用者：61人(11月末) ・「南国市観光案内人の会」による随時ガイドの実施 ごめんまち歩き他、掩体コース等の新たなガイドの強化 →随時ガイド参加者：1,457人(11月末) ・ごめん町定時ガイドの実施 →参加者：322人(11月末) ・航空会社機関紙への南国市店舗の掲載やSNSでの特産品情報発信 ・移動販売車(キッチンカー)を用いた、観光・特産品のPR →沿道グルメ出店(キッチンカー)延事業者数：57(11月末) 売上金額：804,932円(11月末)  <b>2 観光協会の体制強化</b> ・臨時観光案内所運営(R7.3.21～)職員2名体制、年中無休 ・会員増に向けた新規会員の掘り起こし →会員数 R6:118名 → 125名(7月末) ・自主財源の強化 年会費の増額 ・観光協会、観光案内所SNSでの店舗、イベント情報のこまめな発信  <b>3 観光博覧会の開催</b> ・「やなせたかしが育ったまち南国市」X(旧Twitter)アカウントでの情報発信 ・連続テレビ小説ドラマ展「のぶと嵩のおらんく展」(4/26～R8.2/8) →来場者数10,174人(11月末) ※オープニングイベント(4/26)来場者数300人 ・アツてごめんてサマーキャンペーン(#キャンペーン)(7/19～9/30) ・「七色の作家」やなせたかしの世界「パネル展」(6/28～7/30) ・岡豊山さくらまつりの開催(4/6) →来場者数：1,500人(前年比100.0%) ・長宗我部フェスの開催(5/10) →来場者数：700人(前年比100.0%) ・ごめん祭の開催(5/11) →来場者数：1,700人(前年度中止) ・ごめんの軽トラ市の開催(6/1) →来場者数：1,837人(前年比115.8%) ・ごめんteteマルシェ(6/1) →来場者数：1,450人(前年比138.1%) ・ごめんの軽トラ市の開催(10/26) →来場者数：1,998人(前年比190.1%) ・ごめんteteマルシェ(10/26) →来場者数：1,300人(前年比209.7%) ・ごめん秋のパンまつり(10/26) →来場者数：1,222人(初開催) ・臨時観光案内所の運営を(一社)南国市観光協会へ委託 ・スマホ用音声ガイド「ごめさんぼ」(3/29～R8.2/28) →利用者数：586人(11月末) ・南国市周遊クーポン券配布(4/26～R8.2/8) →配布枚数：9,590枚(11月末) ・ごめんさんぼマップの配布(3万部)	51.4万人(R7.1月～11月)  ・R7到達目標達成率：102.0% ・対前年同期比：106.0%	<b>A</b>  <b>(成果)</b> ・連続テレビ小説「あまちゃん」の放送を契機としたPRにより、後免町への観光客の誘致や満足度の向上と南国市特産品の認知度向上につながった。 ・県外観光客の比率が高くなり先生ゆかりのスポットと共に、西島園芸団地や道の駅南国への入込みが多く見られた。 ・物部川DMO協議会の県外営業等を通じて、県外旅行会社のバスツアー等による有料ガイドも含めた「後免まち歩き」が大幅に増加し、団体客の受入れも一定進んだ。  <b>(課題)</b> ・外国客船のインバウンド客の誘客 ・修学旅行生の津波避難タワー等、防災学習のニーズに対応可能な観光ガイドの育成 ・案内所立ち寄り客の特産品購入率の低迷 ・連続テレビ小説ドラマ展「のぶと嵩のおらんく展」の団体客誘客不足  <b>(今後の方向性)</b> ・物部川DMO協議会、3市観光協会、観光案内人の会、高知SGG善意通訳クラブ等の協力体制のもと、各施設のインバウンド受入れと旅行商品の販売強化 ・防災学習、視察対応ができる観光ガイドの養成 ・SNSでの各商品のこまめな情報発信 ・旅行会社等へのPRの実施 (物部川DMO協議会、高知県コンベンション協会と連携) ・龍馬バスポートへのメニュー追加やスタンプラリー等への参加による来場者増	<b>1 観光の推進</b> ・既存の観光メニュー、イベントのブラッシュアップや新たなメニューづくり、周遊ルート提案・実施【通年】 ・観光パンフレットの発刊、SNS等での情報提供、旅行雑誌等への売り込み【通年】 ・防災ガイドコースの新設【4月】 ・各施設のインバウンド受入れと旅行商品の販売強化【通年】  <b>2 観光協会の体制強化</b> ・会員増に向けた新規会員の掘り起こし【通年】 ・SNSやパンフレットによる会員店舗やイベント等のPR【通年】	

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
		項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			R8計画
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
観光	13	<b>南国市の観光農園を活用した体験型・滞在型観光の推進</b> (南国市)  【実施主体】 ・〇(株)西島園芸団地 ・南国市 ・(一社)南国市観光協会 ・(一社)物部川IDMO協議会 ・南国市観光施設連絡会  南国市観光の中核である観光農園を時代の変化、顧客ニーズに対応したブランディングにより磨き上げ、魅力的な観光施設として広域的な観光客の誘致を推進するとともに、生産された青果の外販の拡大を図る。	観光客 入込数	145,141人	150,000人	156,000人	<b>1 観光客誘致促進</b> ・南国市、南国市観光協会、物部川IDMO協議会及び周辺観光施設、宿泊施設等と連携した観光客誘致の取り組み【通年】 ・WEB等を活用した情報発信【通年】 ・旅行代理店へのセールス等【通年】 ・いちご狩りやイベントの開催【通年】 ・魅力ある店舗づくり ・レイアウトや内装の随時見直し【通年】	<b>1 観光客誘致促進</b> ・南国市、南国市観光協会、物部川IDMO協議会及び周辺観光施設、宿泊施設等と連携した観光客誘致の取り組み ・テレビ局へのパブリシティの実施(随時) ・Instagramを活用した情報発信:25回(11月末現在) ・WEB等を活用した情報発信 ・旅行代理店へのセールス等 ・いちご狩りやイベントの開催 ・旬の果物や商品、顧客の反応に合わせたレイアウトや内装の見直し(随時)	134,499人 (R7.1月~11月)	B	<b>(成果)</b> ・団体客の入園者が増加(対前期比117%)し、フルーツ券、カフェメニュー「メロンのしっぽ」等の売り上げが好調となった。 ・首都圏を始め、メロン等の販売が好調であり、売上高も好調となった。  <b>(課題)</b> ・老朽化した設備等の計画的な更新 ・さらなる誘客と売上げの増加 ・いちごの生育不良によるいちご狩り、販売の低迷 ・光熱費等のコスト増  <b>(今後の方向性)</b> ・増益による設備更新費用の確保 ・栽培部、営業部の協議による需要に応じたフルーツ栽培 ・いちごの安定生産 ・コスト増に見合った適切な販売価格の設定	<b>1 観光客誘致促進</b> ・南国市、南国市観光協会、物部川IDMO協議会及び周辺観光施設、宿泊施設等と連携した観光客誘致の取り組み【通年】 ・WEB等を活用した情報発信【通年】 ・旅行代理店へのセールス等【通年】 ・いちご狩りやイベントの開催【通年】 ・魅力ある店舗づくり ・レイアウトや内装の随時見直し【通年】
				売上高	3億9,478万円	4億円	4億2,400万円	<b>2 売上増に向けた取り組み</b> ・観光客増による店舗販売の推進 ・フルーツ券商品の販売推進、カフェメニューの見直し【通年】 ・観光博覧会を活用した集客の実施【~R8.2】 ・通販の推進及び大手百貨店等への厳選した商品の売り込み・販売【通年】 ・ブランドの基礎となる商品の高品質化、安定供給に向けた栽培の不断の取り組み【通年】 ・生産品種の随時見直し【通年】 ・栽培ハウス加温設備等の計画更新【通年】	<b>2 売上増に向けた取り組み</b> ・観光客増による店舗販売の推進 ・フルーツ券商品の販売推進、カフェメニューの見直し →カフェにて季節のフルーツピザの販売を開始(5月~) ・観光博覧会を活用し、連続テレビ小説「あんぱん」にちなんだ商品を販売 ・通販の推進及び大手百貨店等への厳選した商品の売り込み・販売(通年) ・大手百貨店等の産地視察受入れ(随時) ・組織体制の見直し (外商・観光部門新設、売店・カフェ部門統合) ・栽培及び営業部門の情報共有のため販売会議を定期開催 ・いちご狩りに向けた生産品種・面積の見直し ・スイカ(小玉)やメロン(赤肉)の生産品種の見直し ・関係者を交えた月例会の開催:9回(4月~12月) ・財務ADによる月例会での決算分析と改善提案(12/26) ・加温設備(ボイラー、配管等)修繕【随時】	3億9,844万円	B	・R7到達目標達成率:99.6% ・対前年比:100.9%

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
		項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			R8計画
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
観光	14	<b>香南市におけるスポーツ・体験型観光等の取り組みの推進</b> (香南市)  【実施主体】 ・〇(一社)香南市観光協会 ・香南市 ・地域の体験メニュー等提供団体  香南市の自然や文化、歴史等の地域観光資源を活用したスポーツ・体験観光を推進するとともに、様々な観光スポット等と連携した周遊プランの造成・情報発信を行うことにより、地域外からの交流人口の拡大を図る。	主要観光施設入込数(10施設)  1月～12月  102.3万人(R4)	98.3万人	107.5万人	111.8万人	<b>1 旅行商品の造成と販売</b> ・観光施設の連絡強化のための香南市観光施設連絡会の開催  <b>2 スポーツ・体験観光の推進</b> ・トレイルランニングレースの開催【10月】 ・スポーツイベント等の開催支援【通年】 ・体験観光メニュー(ミカン狩り、歌舞伎役者体験等)の造成、磨き上げ【通年】 ・レンタサイクル事業の実施、各種サイクリングイベントの実施及び支援【随時】	<b>1 旅行商品の造成と販売</b> ・香南市観光施設連絡会(第1回：4/22、第2回：12/19) ・外国人観光客の受入(絵金蔵・弁天座)  <b>2 スポーツ・体験観光の推進</b> ・トレイルランニングレース(KONAN TRAIL)の開催(10/5) →参加者：235名 ・塩の道うおーくの開催(4/19) →参加者：125名 ・土佐よさこいツアーウォーク(6/28～29) →参加者：1日目 133名、2日目 134名 ・三宝山エリア(4施設)での取り組み：303スタンプラリー(三宝山エリア観光を考える会)(R7.12～) ・レンタサイクル事業の実施(R7.4～12月) →レンタル：1,214台 ・健康サイクリング(6/7、1/24) →参加者：12名	99.3万人(R7.1月～12月)  ・R7到達目標達成率：92.4% ・対前年同期比：101.0%	<b>B</b>	<b>(成果)</b> ・塩の道うおーく等のスポーツ・体験観光イベントの開催により、地域の盛り上がりにつながった。 ・ものべすと周遊ライドの開催により、3市が協力する体制づくりが構築できた。  <b>(課題)</b> ・外国人観光客の受入強化 ・関係者との連携による観光商品の造成 ・観光博覧会「ものべすと」のレガシーを生かした今後の展開  <b>(今後の方向性)</b> ・絵金蔵・弁天座による外国人観光客の受入れ ・観光博覧会推進事業費補助金(市)による支援	<b>1 旅行商品の造成と販売</b> ・観光施設の連絡強化のための香南市観光施設連絡会の開催【随時】 ・外国人観光客の受入れ(絵金蔵・弁天座)【随時】  <b>2 スポーツ・体験観光の推進</b> ・トレイルランニングレースの開催【10月】 ・スポーツイベント等の開催支援【通年】 ・体験観光メニューの造成、磨き上げ【通年】 ・レンタサイクル事業の実施、各種サイクリングイベントの実施及び支援【随時】  <b>3 地域の観光情報の発信</b> ・HP、SNS等を活用した情報発信【随時】

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
		項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			R8計画
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
観光	15	<b>ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の推進</b> (香南市)  【実施主体】 ・〇(株)ヤ・シィ ・香南市  地域の自然や食材を生かした賑わいの拠点づくりを進めるため、ヤ・シィパークを核とした仕組みづくりに官民一体となって取り組み、地域の活性化を図る。	ヤ・シィパーク の入込数  1月～12月 29.5万人 (R4)	28.4万人	31.3万人	33.2万人	<b>1 ヤ・シィパークを核とした地域の活性化の取り組み</b> ・インクルーシブ化の推進 多様な観光客を受入れるため、案内板の設置等の環境整備を実施【通年】 ・集客力の向上 集客のためのイベント開催【随時】 HP・SNS等を利用した情報発信を実施【通年】 ・観光博覧会に係る情報発信の強化【通年】	<b>1 ヤ・シィパークを核とした地域の活性化の取り組み</b> ・ヤ・シィパーク活性化推進協議会の開催(8/22)及びブルーフラッグ認証の取得に向けて検討開始 ・案内板設置等工事(～R8.3月) ・土佐よさこいツアーウォーク(6/28～6/29) →参加者：1日目 133人、2日目 134人 ・マリネフェスティバルYASU開催(7/20) →来場者：1,500人 ・手結盆踊りの開催(8/15) →来場者：15,000人 ・ヤ・シィパークの秋祭り(11/23) →来場者：3,000人 ・地域情報センターにおいて連続テレビ小説「あんばん」の放送に伴うパネル等の展示	28.5万人 (R7.1月～12月)  ・R7到達目標達成率：91.1% ・対前年同期比：100.1%	<b>B</b>	<b>(成果)</b> ・客単価の増加によりテナントの売上高が増加している。  <b>(課題)</b> ・インクルーシブ化の推進に向けたソフト事業の取り組みについて、見通しが不透明 ・猛暑等の影響により、海水浴客数は減少傾向  <b>(今後の方向性)</b> ・インクルーシブ化の推進(ソフト事業の取り組み、インクルーシブ遊具の設置、ブルーフラッグ認証の取得等)	<b>1 ヤ・シィパークを核とした地域の活性化の取り組み</b> ・インクルーシブ化の推進(ソフト事業の取り組み、インクルーシブ遊具の設置、ブルーフラッグ認証の取得等)【通年】 ・HPやSNS等を利用した情報発信【通年】
							<b>2 売上増に向けた取り組みの強化</b> ・HPやSNS等を利用した情報発信【随時】 ・空きテナントの解消【通年】	<b>2 売上増に向けた取り組みの強化</b> ・ヤ・シィパークHPでのイベント等の周知を徹底 ・空きテナントの解消に向け備品の購入や老朽化した施設の修繕実施	2億7,348万円 (R7.4月～12月)  ・R7到達目標達成率：106.7% ・対前年同期比：106.3%			<b>A</b>
観光	16	<b>三宝山エリアにおける観光拠点化の推進</b> (香南市)  【実施主体】 ・(有)北村興産  香南市のシンボルである三宝山山頂周辺の整備とアクトランドを中心とした施設整備を進めることで、様々な楽しみ方ができる観光エリアを作り出すとともに、近隣の観光施設等と連携し、県内外から観光客を呼び込み、交流人口の拡大を目指す。	状況を踏まえて設定	-	-	-	<b>1 施設整備</b> ・事業計画の検討・実施【通年】 三宝山開発、アクトランド及び周辺整備	<b>1 施設整備</b> ・三宝山山頂の整地が完了(R7.8) ・詳細な整備計画の検討	-	<b>(成果)</b> ・三宝山山頂の整地が完了し、整備が進んだ。  <b>(課題)</b> ・事業計画の詳細設計の検討 ・地域住民等との調整  <b>(今後の方向性)</b> ・詳細設計に必要な関係者との協議・調整	<b>1 施設整備</b> ・事業計画の検討・実施【通年】 三宝山開発、アクトランド及び周辺整備 ・詳細設計に必要な関係者との協議・調整【随時】	

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	項目名・実施主体	【P(Plan)】				【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
			指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			R8計画
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
観光	17	<p><b>香美市における滞在型・体験型観光の推進</b> (香美市)</p> <p>【実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇(一社)香美市観光協会</li> <li>・香美市</li> <li>・(株)香北ふるさとみらい</li> <li>・地域内の観光施設</li> <li>・体験型観光メニュー等の提供団体</li> </ul> <p>香美市の地域資源を生かした体験型観光メニューを充実させるとともに、主要な観光施設を核とした周遊プランの造成・情報発信を行うことにより、地域外からの交流人口増を図り、滞在型・体験型観光を推進する。</p>	<p>主要観光施設 投入込数 (3施設)</p> <p>1月～12月</p> <p>22.0万人 (R4)</p>	25.7万人	26.6万人	28.8万人	<p><b>1 体験型観光メニューづくりと推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型観光メニューの磨き上げ、新メニューの造成</li> <li>・受入体制や窓口機能の強化</li> </ul> <p><b>2 観光協会の取り組みの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光イベントの企画・実施【通年】</li> <li>・旅行会社等へのセールス活動の実施【随時】</li> <li>・高知県観光キャンペーン等と連動した情報発信【通年】</li> </ul> <p><b>3 香北エリアを中心とした観光活性化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺施設や地域との連携体制の構築</li> </ul> <p><b>4 観光博覧会の開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やなせたかしゆかりの地での観光ガイドの実施</li> <li>・混雑緩和策の実施【GW】</li> <li>・臨時観光案内所の運営【R7.3～R7.11】</li> <li>・やなせたかし関連の企画展、イベントの実施、情報発信</li> <li>・周遊キャンペーンの実施【通年】</li> </ul>	<p><b>1 体験型観光メニューづくりと推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験博かみめぐりの開催(9/20～12/7) →42商品(R6:35商品、延べ433人が参加)</li> <li>・観光ガイド研修会の実施(毎月) →4回実施、延べ55人参加</li> <li>・JR土佐山田駅前の観光案内所の窓口強化 →相談者数：19,490人(11月末時点)(対前年度比221.1%)</li> <li>・臨時観光案内所の運営(4月～11月) →相談者：3,332人</li> </ul> <p><b>2 観光協会の取り組みの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「土佐塩の道30kmうおーく」の実施(4/19) →参加者：125人</li> <li>・星空塾の開催(8/28、12/21) →参加者：23人、16人</li> <li>・高知天文講演会の開催(9/6) →参加者：165人</li> <li>・旅行会社向けモニターツアーの開催(8/27) →参加事業者数：13者</li> <li>・香北よこばせごっこ(10/21) →参加者：700人</li> <li>・広報誌を活用した情報発信 →カミフル配布部数：58,000冊</li> <li>・観光協会のSNS(Instagram、Facebook、X)を活用した情報発信</li> <li>・大阪・関西万博で香美市観光協会Instagramアカウントのフォローを条件にノベルティを配布</li> <li>・特産品の販売(高知県香美市展(7/6、大阪)、あわ湯かけまつり(8/9)、WORLD YOSAKOI DAY(8/22,23)、SASEBO JAMFESTIVAL(11/22、23)</li> </ul> <p><b>3 香北エリアを中心とした観光活性化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンパンミュージアム周辺会議の開催(毎月)：9回</li> <li>・アンパンミュージアム前広場へのキッチンカーの出店募集 →36日、のべ54店が出店</li> <li>・道の駅美良布で朴の木餅やあんかると、「あんぱん」にまつわる商品を販売</li> <li>・「愛と勇気の道」にカミーティアの街灯を設置 →11基</li> </ul> <p><b>4 観光博覧会の開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やなせたかし記念館特別展示「やなせたかし ぼくと誌と絵と人生と」(3/29～9/28)</li> <li>・やなせたかしゆかりの地での定時ガイドの実施(5/10～9/28) →「香北町さんぽ」参加者：28人</li> <li>・やなせたかし記念館での予約制ガイドの実施 →参加者 R7:3,231人</li> <li>・GW渋滞対策の実施 →臨時駐車場の確保：383台分 (やなせたかし記念館周辺、朴ノ木公園)</li> <li>・臨時観光案内所の運営(4月～11月)(再掲) →相談者：3,332人</li> <li>・市内各所に香美市キャラクターデザインのマンホールを増設 →5箇所(既設9箇所)</li> <li>・Kamicaデジタルスタンプラリーの開催(10/15～2/15) →参加者数：391人(12/15時点)</li> </ul>	<p>386,541人 (R7.1月～12月)</p> <p>・R7到達目標達成率： 145.3%</p> <p>・対前年同期比：150.4%</p>	S	<p><b>(成果)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続テレビ小説「あんぱん」関連イベントの開催や情報発信により観光客数が大幅に増加した。</li> <li>・観光客の増加に対してガイドの育成や観光案内所の改修・臨時案内所の設置等、受入体制や窓口機能の強化を図ることができた。</li> </ul> <p><b>(課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続テレビ小説「あんぱん」終了後の誘客</li> <li>・観光ガイドの育成(スキルアップ、サービスの向上)</li> <li>・観光客が市内全体を周遊する仕組みの検討</li> </ul> <p><b>(今後の方向性)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続テレビ小説「あんぱん」を契機として開催したイベントや取り組みの持続支援</li> <li>・既存のガイドに向けた実践的な研修の実施によるスキルやサービスの向上</li> <li>・観光施設間の連携体制の強化</li> </ul>	<p><b>1 体験型観光メニューづくりと推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型観光メニューの磨き上げ、新メニューの造成【通年】</li> <li>・受入体制や窓口機能の強化【随時】</li> </ul> <p><b>2 観光協会の取り組みの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光イベントの企画・実施【通年】</li> <li>・旅行会社等へのセールス活動の実施【随時】</li> <li>・高知県観光キャンペーン等と連動した情報発信【通年】</li> </ul> <p><b>3 香北エリアを中心とした観光活性化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺施設や地域との連携体制の構築【通年】</li> </ul>

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
		項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			R8計画
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
観光	18	<b>龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進</b> (香美市)  【実施主体】 ・〇(公財)龍河洞保存会 ・(株)龍河洞みらい ・龍河洞エリア活性化協議会 ・香美市  日本三大鍾乳洞の一つに数えられ、高知県を代表する観光資源である龍河洞を中心として、国内外の観光客を誘致し、観光振興を図ることで地域を活性化させる。	観光客入込数 1月～12月 13.0万人 (R5)	13.8万人	15万人	16.5万人	<b>1 龍河洞エリア活性化基本計画の推進及びエリア全体の振興策の検討</b> ・龍河洞エリア活性化基本計画(H29～R6)の総括【通年】 ・龍河洞エリア全体の振興策の検討【通年】 ・老朽化施設等の活用方法の検討【通年】  <b>2 広報、PR活動</b> ・SNS、テレビ、情報誌等を活用した情報発信【随時】  <b>3 集客イベントの開催</b> ・観光博覧会に係るイベント等の開催【通年】	<b>1 龍河洞エリア活性化基本計画の推進及びエリア全体の振興策の検討</b> ・龍河洞保存会としての意見のとりまとめ(7/21) ・商店街関係者等、活性化協議会構成メンバーへのヒアリングを実施(8月～) ・龍河洞エリア活性化協議会の開催(11/26)  <b>2 広報、PR活動</b> ・Instagram、Xアカウントを活用した情報発信 →龍河洞公式SNSのフォロワー数：Instagram2,983人、X4,807人 ・テレビを活用した情報発信(プライムこうち、こうちいちばん、こうちeye、釣り人万歳 等) ・イベントガイドへの情報掲載 →幼小中学校への配布：愛媛県15万部、高知県7万部 ・情報誌を活用した情報発信(Ku:nel(クネル)、まっふる、各種旅行雑誌等) ・よさこい会場(中央公園)でのCM放映：52回(780秒) ・高知空港サイネージでのPR、各種媒体への広告掲載  <b>3 集客イベントの開催</b> ・「龍河洞リユークン」のマンホールカードの配布(4月～) →配布枚数：2,900枚 ・龍河洞オリジナルシールプレゼントキャンペーンの実施(3/20～4/6、4/26～5/6、7/19～8/31、9/13～9/23) →一般客：21,598枚(R7.8末) ・宿泊施設(高知市、南国市、香南市、香美市)利用客割引キャンペーン →割引券利用数：522枚(7,800枚配布) ・龍河洞まつりの開催(8/30) ・龍河洞ナイトの開催(12/14～24) ・龍河洞のクリスマス'25スクラッチキャンペーン(12/20～25)	154,408人 (R7.1月～12月)  ・R7到達目標達成率：102.9% ・対前年同期比：112.9%	A	<b>(成果)</b> ・連続テレビ小説「あまちゃん」を契機とした広報PRや、他の観光施設との連携等により、22年振りに観光客入込数15万人を突破した。  <b>(課題)</b> ・龍河洞エリア活性化基本計画の終了に伴い取り組みの成果や課題を整理し、次期計画に反映する事が必要 ・龍河洞エリア活性化協議会の体制見直し(構成メンバー、開催回数、部会の設置等) ・運営に係る人材不足  <b>(今後の方向性)</b> ・次期龍河洞エリア活性化基本計画の策定 ・龍河洞エリア活性化協議会の体制見直しと定期的な開催等による次期計画の進捗管理 ・運営に係る人材の確保と育成方法の検討	<b>1 龍河洞エリア活性化基本計画の推進及びエリア全体の振興策の検討</b> ・龍河洞エリア全体の振興策の検討【通年】 ・龍河洞エリア活性化基本計画の推進【通年】  <b>2 広報、PR活動</b> ・SNS、テレビ、情報誌等を活用した情報発信【随時】  <b>3 集客イベントの開催</b> ・集客を促すためのイベント等の開催【通年】

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※達成見込みの基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	No.	【P(Plan)】					【D(Do)】	【C(Check)】・【A(Action)】			【P(Plan)】	
		項目名・実施主体	指標 出発点	R6実績	R7 到達目標	R9目標	R7計画	R7取り組み状況	現時点の進捗状況			R8計画
									R7到達目標 に対する現状	達成 見込み (※)	現状分析	
観光	19	<b>べふ峡温泉を中心とした物部エリアの観光振興</b> (香美市)  【実施主体】 ・◎香美市 ・(一社)香美市観光協会 ・観光事業者  美しい自然に恵まれた奥物部のべふ峡温泉と周辺の観光資源を活用し、物部エリアの観光振興を図る。	※今後の検討状況を踏まえて設定	-	-	-	<b>1 べふ峡温泉の経営改善</b> ・新たな指定管理者選定の公募条件の検討【通年】 ・経営改善に向けた具体策の検討・実施【通年】  <b>2 べふ峡を中心とした観光振興</b> ・関係団体と連携した観光振興策の検討・実施【通年】	<b>1 べふ峡温泉の経営改善</b> ・市として事業者を求める最低限優先すべき条件の検討 ・新たな指定管理者選定に向けた公募条件の検討  <b>2 べふ峡を中心とした観光振興</b> ・高知県と株式会社ポケモンの連携協定の 일환として奥物部ふるさと物産館にポケモンマンホール『ポケふた』を設置(4/15) ・「土佐塩の道30kmうおーく」の開催(4/19) →参加者：125人 ・集落活動センター奥物部の開所(4/26) ・各種イベントの開催 ・べふ峡茶屋前での出店(11/8、9、16、22～24)	-	-	<b>(成果)</b> ・香美市関係部署による香美市の望む施設のあり方の検討が一定進み指定管理者の公募要綱の検討段階に入った。 ・物部町内でイベント等を開催したことにより、地域の盛り上がりにつながった。  <b>(課題)</b> ・「香美市が望む施設のあり方(目的)」と「事業採算性」が両立する公募条件の検討 ・物部エリアの観光資源の活用  <b>(今後の方向性)</b> ・新たな指定管理者選定に向けた公募要綱の策定と公募の実施 ・関係事業者へサウンディング調査を実施 ・物部町内での継続的なイベント等の開催	<b>1 べふ峡温泉の運営再開に向けた取り組み</b> ・新たな指定管理者の選定及び実施設計【通年】  <b>2 べふ峡を中心とした観光振興</b> ・関係団体と連携した観光振興策の検討・実施【通年】

## 2 令和7年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取り組み	事業概要	総事業費 (補助金額)
<p>■No. 10 香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売(香美市)</p> <p>※一般事業</p> <p>9/11 交付決定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動充填機等の導入による生産の拡大</li> <li>・ナビゲーションシステムの導入によるデジタル化の推進、省力化</li> </ul>	<p>53,499</p> <p>(24,317)</p>

# [重点] APNo. 2 南国市野菜の生産拡大及び地産地消・地産外商の推進

〈物部川地域本部〉

分野/実施地域	農業 / 南国市
実施主体	◎JA高知県(土長地区)、◎JA高知県出資農業生産法人(株)南国スタイル、◎南国市、Aitosa(株)、(株)イチネン農園、(株)トリムエレクトリックマシナリー、(株)はぐみ農園
APへの位置付け	H21.4月

## 事業概要

南国市産の主要農作物(シトウ、ニラ、ピーマン類)の産地の維持・拡大を目指して、生産拡大や品質改善に取り組むとともに、還元水素水を活用した野菜(還元野菜)など特色ある農産物のPRや地産地消・地産外商を推進し、南国市の農業をはじめとした地域産業の活性化を図る。

## 現状と課題

### 【現状】

南国市では、複数の企業が農業参入し、大規模施設での営農を開始している。R7年度は新たな参入企業が営農を開始し、雇用創出につながった。

#### 1 シトウの生産拡大(R7)

- ・Aitosa(株)が規模拡大後も目標収量12t/10aを達成

#### 2 ピーマン類の生産拡大(R7)

- ・(株)イチネン農園が目標収量22t/10aを達成

- ・(株)はぐみ農園が営農を開始(R7.5～) : 1.2ha  
→雇用創出数(R7.11月時点) : 19人

### 【課題】

- ・Aitosa(株)や既存農家の生産安定
- ・(株)イチネン農園の生産安定
- ・(株)はぐみ農園の生産安定

指標	出発点(R5)	第5期(R6~R9)					評価※(達成率)
		R6実績	R7実績(9月~8月)	R7目標	R8目標	R9目標	
(1)シトウ生産量(9月~8月)	492t	439.5t	461.9t	490t	490t	548t	<b>B</b> (94.3%)
(2)ニラ生産量(9月~8月)	793t	762.4t	770.8t	850t	850t	880t	<b>B</b> (90.7%)
(3)ピーマン類生産量(9月~8月)	1,039t	1,059.2t	1,084.4t	1,120t	1,200t	1,220t	<b>B</b> (96.8%)
(4)「還元野菜」の売上高	917万円(R4)	1,371万円(R6.4~R7.3)	663万円(R7.4~10)	1,000万円	1,100万円	1,100万円	<b>S</b> (113.7%)
(5)学校給食における地元野菜の供給割合	28.38%(R4)	26.91%(R6.4~R7.3)	24.98%(R7.4~10)	27.0%	27.0%	27.0%	<b>B</b> (92.5%)

※R7(目標)に対するR7(実績)の達成見込み **S**:110%以上 **A**:100%以上110%未満 **B**:85%以上100%未満 **C**:70%以上85%未満 **D**:70%未満

主なスケジュール	R7	R8	R9
シトウの生産拡大		生産拡大、担い手育成等	
ピーマン類の生産拡大		ハウス整備((株)イチネン農園の2号棟) 生産拡大、担い手育成等	

## R8年度(第5期ver.2)における取り組みの内容

### (1) シトウの生産拡大

- ・参入企業及び既存農家の生産安定や新規就農者の基本技術習得に向けた指導を継続
- ・IoPクラウド「SAWACHI」を活用したデータ駆動型農業の実践

### (2) ニラの生産拡大

- ・既存農家の生産安定や新規就農者の基本技術習得に向けた指導を継続

### (3) ピーマン類の生産拡大

- ・参入企業及び既存農家の生産安定や新規就農者の基本技術習得に向けた指導を継続
- ・IoPクラウド「SAWACHI」を活用したデータ駆動型農業の実践

### **新** 参入企業の規模拡大(2号棟の整備)

### (4) 「還元野菜」の販売拡大

- ・パプリカ、メロン等還元野菜の栽培、ネット等の販売拡大

### (5) 「南国野菜」の地産地消の推進

- ・農家レストラン「まほろば畑」及び学校給食は現在の活動を継続

分野/実施地域	商工業 / 香美市
実施主体	◎(同)高知カンパニユブルワリー、香美市商工会、香美市
APへの位置付け	H30.9月

第5期(R6~R9)							評価※ (達成率)
指標	出発点 (R4)	R6実績	R7実績 (4月~10月)	R7目標	R8目標	R9目標	
クラフトビールの 売上高	4,207万円	1億 103万円	5,536万円	8,000万円	8,500万円	9,000万円	<b>S</b> (118.6%)

※R7(目標)に対するR7(実績)の達成見込み **S**:110%以上 **A**:100%以上110%未満 **B**:85%以上100%未満 **C**:70%以上85%未満 **D**:70%未満

## 事業概要

高知県産の食材を活用したクラフトビールを開発し、生産拡大を行うとともに、イベントの開催等による自社TAP STANDへの誘客促進を図る。  
更に、商工会等の関係機関と連携し、地元商店街のにぎわい創出を図る。

主なスケジュール	R7	R8	R9
生産体制の強化	機械設備の導入、システムの構築 雇用の創出・人材育成		
認知度向上・販路拡大	イベント・商談会への出展、自社イベントの実施、新商品の開発・販売等		

## 現状と課題

### 【現状】

- 各種媒体でのPRにより、商品の認知度が向上し、売上は順調に増加
- 産振補助金を活用し、更なる増産に向けた設備を整備中
- 製造工程のマニュアル化による属人化の解消
- 副業人材の活用による業務の効率化
- 積極的なイベント、商談会への出展等による販路拡大
- 継続的な新商品(期間・地域限定等)の開発による商品ラインナップの充実

- ⇒ R7年度売上高は目標を上回る見込み
- ⇒ 雇用者数：23名(R7.3月時点)

### 【課題】

- 設備導入による生産量の増加を見越した販路の拡大
- マニュアルのデジタル化による業務効率化
- 地域のにぎわい創出に向けたTAP STAND及びTOSACO GARDENへの誘客

## R8年度(第5期ver.3)における取り組みの内容

### (1)生産体制の強化

- 拡** 産振補助金を活用して導入した自動充填機等の設備による増産と安定供給
- 新** 製造・販売管理システムの運用による業務効率化
- 新** システム運用により取得したデータの一元管理、共有化
- UIターンサポートセンター等を活用した労働力の確保・育成

### (2)認知度向上・販路拡大

- 拡** 業務効率化により確保した人材を活用し、販路拡大に向けた積極的な営業活動を実施
- 地元イベントへの出店、自社イベントの実施
- 新商品(期間・地域限定等)の開発
- SNS等を活用したTAP STAND及びTOSACO GARDENの情報発信



分野/実施地域	観光 / 物部川地域全域
実施主体	◎(一社)物部川DMO協議会、南国市、香南市、香美市、 (一社)南国市観光協会、(一社)香南市観光協会、 (一社)香美市観光協会、(株)ものべす、観光事業者
APへの位置付け	H24.4月

指標	出発点 (R4)	第5期(R6~R9)					評価※1 (達成率)
		R6実績	R7実績 (1~11月)	R7目標	R8目標	R9目標	
主要観光施設入 込数(8施設)※2 (1月~12月)	73.7万人	78.9万人	83.5万人	83.5万人	86.5万人	89.5万人	<b>A</b> (109.1%)

※1 R7(目標)に対するR7(実績)の達成見込み **S**:110%以上 **A**:100%以上110%未満 **B**:85%以上100%未満 **C**:70%以上85%未満 **D**:70%未満  
 ※2 西島園芸団地、県立歴史民俗資料館、南国市ものづくりサポートセンター(海洋堂スペースファクトリーなんこく)、県立のいち動物公園、絵金蔵、龍河洞  
 創造広場「アクトランド」、香美市立やなせたかし記念館

## 事業概要

物部川地域の自然、観光施設、体験メニュー等の多様な観光資源を広域的に組み合わせ、魅力的な観光商品とするとともに、民間事業者の視点も踏まえて地域の観光資源を一層磨き上げ、情報発信を行うことにより、観光客の広域的な誘致を推進し、交流人口の拡大を図る。

主なスケジュール	R7	R8	R9
観光商品の充実・観光客の 広域誘致	・県キャンペーンとの連動や、やなせさんコンテンツを生かした観光商品の造成・販売 ・連続テレビ小説や、やなせさんを全面に出したセールスの実施やエリア内の情報発信 ・デジタルデータ等を活用した分析・戦略策定	→	
地域連携による 周遊促進	観光博覧会の開催	連続テレビ小説「あんばん」放送後の 誘客・周遊施策等の継続	

## 現状と課題

## R8年度(第5期ver.3)における取り組みの内容

### (1)広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化

- ①物部川広域観光振興計画(R8~12)の実行
- ②マーケティング機能の強化
- ③エリア内関係者との定期的な情報交換の実施

### (2)観光商品の充実・観光客の広域誘致

- 新** ①「やなせたかしさん」コンテンツを生かしたブランディングの強化
- ・やなせたかし記念館やまちあるきガイド等を組み合わせたコンテンツ開発
  - ・ドラマの小道具を活用した企画展やイベントの開催 等
- ②家族3世代がともに楽しめる受入環境の充実
- ・やなせさんのキャラクターや関連施設を巡る周遊企画の実施
  - ・親子や3世代で楽しめる体験博の開催 等
- 新** ③高知龍馬空港の国際化に連動したインバウンド対応の強化
- ・インバウンドの国籍に応じたコンテンツ開発
  - ・多言語に対応したSNS等での情報発信の強化 等



©やなせたかし  
 ©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

### (3)地域連携による周遊促進

- 拡** ①二次交通対策を踏まえた周遊促進の強化
- ・コミュニティバスを含めた交通アクセスやモデルコース等の情報発信 等
- ②エリア内事業者や高知県東部観光協議会等と連携した周遊企画の実施



## 24【現状】

- ・中核施設として位置づけたやなせたかし記念館の入込数は前年を大きく上回り、15年ぶりに20万人を達成。海洋堂SFN、絵金蔵の入込数も好調に推移。
- ・県内外でのPR活動やセールス活動の強化により、ツアー設定件数が前年度から大幅に増加。(R6:67件→R7:344件) ※R8.3月末見込み
- ・観光博覧会「ものべすと」の開催により、物部川DMO協議会を中心に物部川3市の官民が一体となり、広域観光を進めていく仕組みが強化された。

## 【課題】

- ・「ものべすと」の取り組みをレガシーとして引き継ぎ、今後も官民一体で誘客に取り組んでいくため、R8年3月に策定する広域観光振興計画(R8~12)を実行することが重要。
- ・高知龍馬空港の国際化等、インバウンド需要を着実に取り込むための受入環境整備や誘客施策の強化が必要。
- ・主要観光施設の入込の維持と周辺施設へ波及させる取り組みの強化が必要。